

学年	区分・学科・実習	科目名	総時間	期
1.2	実習 自動車整備作業	エンジン（ジーゼル）	238	前期 後期
使用教材		担当(実務経験 有り・無し)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三級自動車ジーゼル・エンジン</li> <li>・二級自動車ジーゼル・エンジン編</li> </ul>		三原泰雄（有り）整備職 村上信元（有り）整備職		
目 的				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習の目的：実機を使用して各部の構造・機能・作動の把握</li> <li>● 到達の目標：エンジン排気量の大小・機能・構造の違いに対応でき、スキルを磨くと同時に、登録試験に対応できる能力をも研いていく</li> </ul>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 詳細は教育計画および進行表のとおり。</li> </ul>				
備考欄				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 成績は学則の採点基準に従い、優・良・可・不可の4段階にて評価する。 （参考資料 「試験・成績」を参照）</li> </ul>				

## 年間教育計画及び進行表(令和6年度・後期)

第1学年 区分:実習 科目:ジーゼルエンジン(68H) 1班

担当:

項目	内容	予定時間	実施時間	実施予定日 実施日
導入	ファイル、プリント配布、実習の心得、目的、レポートの書き方、必須事項、班編成、工具管理について 実習班、工具確認、部品棚確認、実習エンジンの確認、エンジン始動前点検、エンジン始動、冷却水・オイル漏れ確認	4.0		
エンジン整備	シリンダヘッド取外し 冷却水排出 シリンダヘッドの分解(バルブ及びバルブスプリング取外し)	4.0		
エンジン整備	シリンダヘッドの歪み測定 バルブ関係の測定(ガイドとステムの隙間など) バルブシートの修正について バルブシートカッター、バルブリフェーサーの使用方法について	4.0		
エンジン整備	ロッカーアームASSY分解 ロッカーアーム及びロッカーアームシャフト点検、測定			
まとめ1	実習プリントまとめ(P8~9) オイル上がり、下がりについて、シリンダの磨耗について	8.0		
エンジン整備	エンジン架台より、エンジン本体の取外し チェーンブロックの取り扱いについて(安全管理)			
エンジン整備	ミッションケース取外し、エンジンマウント取外し クラッチの構造について エンジンスタンドの取り扱いについて エンジンを架台からエンジンスタンドへ付け替え	4.0		
エンジン整備	クラッチカバーの取外し フライホイールの取外し エンジン本体をエンジンスタンドへ取付け エンジンオイルの抜き取り エンジンフロント周りの分解 フロントカバー取外し、タイミング関係確認 タイミングベルト、タイミングギヤ合わせマークについて インジェクションポンプ、カムシャフト、オイルパン取外し	8.0		
エンジン整備	シリンダ突き出し量、ピストンの突き出し量測定 カムシャフト関係点検・測定、タペット点検 インジェクションノズル噴射圧力点検 オイルポンプ分解、点検	4.0		
まとめ2	エンジン本体、点検及び組み付け確認 点検、組み付け要点プリント記入(P11~18) エンジン本体、点検及び組み付け確認 点検、組み付け要点プリント記入(P19~27)	4.0		
エンジン整備	エンジン本体、点検及び組み付け オイルポンプ組み付け オイルパン取り付け インジェクションポンプ取り付け タイミングベルト取付(4JB1)、タイミングギヤ取付(4BE1) シリンダヘッド取付(4JB1)、エンジンスタンド取外し(4BE1)	8.0		
エンジン整備	フライホイールハウジング取付(4BE1) フライホイール取付、SSTにてフライホイール固定 シリンダヘッド取付、塑性域締め付け法について	4.0		
	企業説明会特別実習	2.0		
エンジン整備	マニホールド取付、エンジンフロント周り取付 バルブクリアランス調整(上死点での調整作業要領を説明) バルブクリアランス調整 エンジンスタンド→エンジン架台へ移設	8.0		
エンジン整備	ノズル、フューエルパイプ取付 エンジンオイル注入、冷却水注入、燃料エア抜き 最終チェック、油圧点検、圧縮点検	4.0		
まとめ3	最終チェック、油圧点検、圧縮点検 まとめ、実習場及び教材整理	2.0		
	計	68.0	68.0	